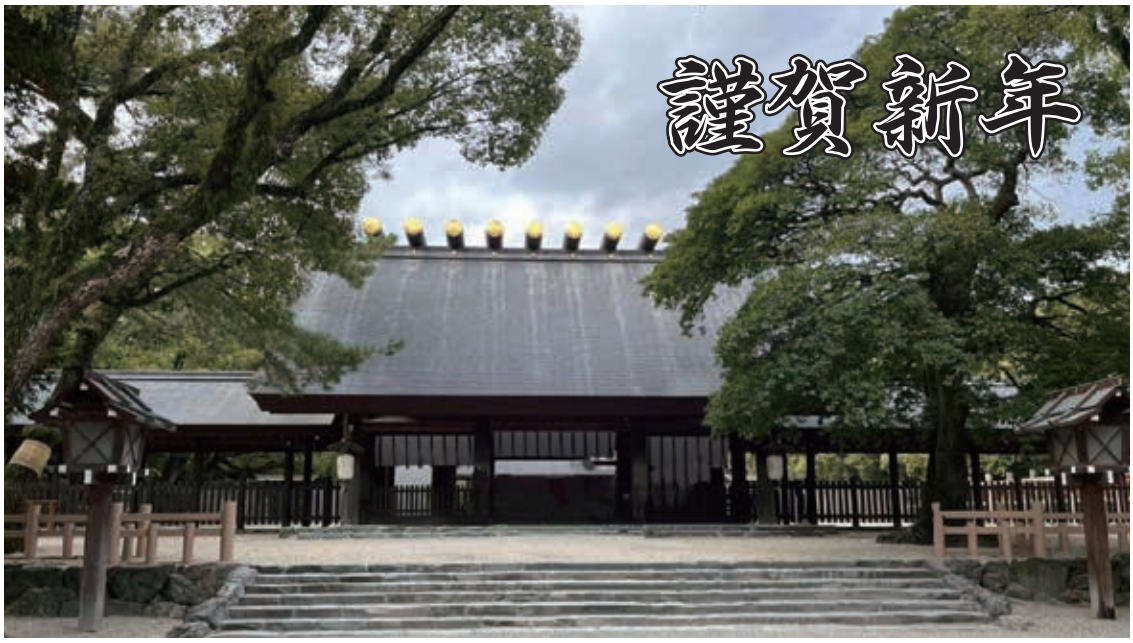

愛板

愛知県板金工業組合
発行　広報委員会
名古屋市昭和区北山町
３－８－６　〒466-0006
電　話　052-732-1226

新年のご挨拶

理事長　後藤　実

新年明けましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また日頃は、当組合の事業運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

昨年は、コロナの感染収束が見えない中、ロシアのウクライナ侵攻等によるエネルギー価格や食料品等の高騰、円安が続く中、豪雨・台風等の自然災害による断水・停電等の被害、又、デジタル分野をはじめ深刻化する人材不足や事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、危機的な状況が続きました。特に、原材料価格の上昇を取引価格に十分に転嫁できない事により、事業収益面で重大な悪影響を被っていました。

話は変わりますが、本年４月から、建設業にも時間外労働の上限規制が適用されます。建設業が、新３Ｋ（給与、休暇、希望）に「かっこいい」を加えた新４Ｋ産業になれるよう担い手確保・育成に向けて、働き方改革と生産性向上を両輪として推し進めなければなりません。休日が確保できるよう、週休２日の拡大を働きかけるなど就労環境の改善に取り組み、若者から選択される職種づくりが出来ればと思っております。

さて、昔から「一年の計は元旦にあり」と言われています。物事を始めるには計画が重要だという意味だそうです。しかしよくよく調べましたら、全文は『一日の計は朝にあり　一年の計は元旦にあり　十年の計は樹を植えるにあり　百年の計は子を教えるにあり』とのことです。私事ですが、「一年の計は元旦にあり」ここだけを知って、これまで今年こそはと誓いを立てていましたが、実は教え育てるということに結びつくのだそうです。いずれにしても、計画は重要だということに変わりはなく、新たな一年に向けて考える時期にあると思っています。

本年は組合員の皆様方に事業内容、計画、活動など一早くお伝え出来る様、時代に沿ったホームページのリニューアル、現組合員数に沿った定款の変更などを主にして、あらためて組合活動の原点を考えてみたいと思います。

その他にも多くの課題を抱える一年となりますが、組合と致しましてもその都度方針を提起する等、皆さんと一緒に事業の前進を図ってまいりたいと考えております。

最後に、新しい年が組合員やご家族の皆さんにとって、健康で実り多い一年となりますよう祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

愛知県亜鉛鉄板問屋会 会長　折木　忠

新年あけましておめでとうございます。

愛知県板金工業組合員の皆様に於かれましては健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。また平素は私共問屋会に格別のお引き立てを賜り有難く厚く御礼を申し上げます。何卒本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の終わりが見えない中、新たにイスラエル・パレスチナ問題が発生して世界的に大変な状況が起こりました。その影響でここ何年間か続いているエネルギー価格の上昇が高い水準で推移しています。

私たちにもその影響からいろいろな生活に必要なものの物価上昇が起こりとても厳しい状況が続いています。

しかし新型コロナウイルス感染症による混乱がようやく落ち着きを見せ、日本経済は、各地でイベントが再開されるなどサービス消費の回復やインバウンド需要の増加など明るい話題も増えてきました。

我々を取り巻く環境に目を向ければ、鋼板をはじめあらゆる建築資材価格・運搬費等が高値で推移し、年々新築着工件数は減少して大変厳しい状況です。そんな中「中古住宅を購入して、自分好みにリフォームしたい」と検討する人や、「コロナウイルスの影響でワークスタイルが変更して住環境を見直したい」と考える人が増えています。今後も中古市場がより活発化すれば、リフォームの需要はさらに高まるでしょう。ここに私達業界のビジネスチャンスがあると思います。私共問屋会各社も各メーカー、商社から有益な情報をいち早く仕入れ、板金工業組合様とより一層の情報交換をさせていただき、組合員の皆様に更にお役に立てるよう努めてまいりますので、皆様の変わらぬご愛顧ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、愛知県板金工業組合様、組合員の皆様のご多幸と益々のご繁栄を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

第56回 西三板金連合会総会

西三板金連合会は11月26日(日)午前9時30分より岡崎市の中小企業・勤労者支援センターにおいて、令和5年度の総会を開催した。今年の設営、進行は豊田支部が担当し、後藤実愛知県板理事長の臨席を賜り、傘下の8支部から組合員26名が出席した。

福田氏が司会進行を務め、石原副会長の開会の辞に続き、物故者に黙祷を捧げ、担当支部の田中支部長が歓迎の挨拶をし、当連合会長の清水氏がこの一年を振り返りながら挨拶を述べた。来賓挨拶では後藤理事長が組合員減少による様々な変革案についてや、全板連の動き、働き方改革などの話をおり交ぜてご挨拶された。

▶挨拶する　清水西三連合会長

議案審議に入り、議長に小倉氏が指名され、令和5年度事業経過報告と会計報告、会計監査報告があり、その後令和6年度事業計画案と予算案を審議し、全て承認された。

県板各委員会報告の後、「その他」として清水会長よりLINEグループの活用についての話があった。

▲総会風景

続いて次年度担当支部である刈谷支部の望月支部長が「刈谷の地で懇親会も含めて行います。」と挨拶された。

最後に当連合会の安全スローガン「小さなヒヤリは危険の合図　今すぐ改善無災害」を全員で唱和し、田中副会長の閉会の辞で閉会した。

休憩後に東京海上日動の辻崇志氏による税金・税理士・共済制度など様々な「経営」についての講習会があり、皆、興味深くメモをとっていた。

懇親会はインフルエンザの流行等を配慮して行われなかった。

赤池（豊田支部）

▶講演会講師　辻崇志氏

令和五年は、次の組合員の方々が表彰されましたので、紹介いたします。

組合員こぞって祝福し、これからも益々ご活躍されますよう祈念したいと存じます。

順不同・敬称略

名古屋市長表彰

◆技能功労

後藤　実（千種支部）

全日本板金工業組合連合会理事長表彰

◆組合功労

伊藤　照浩（一宮支部）

林　清典（小牧支部）

第 26 期　役職者名簿

役職名	支部名	役員名	役職名	支部名	役員名	役職名	支部名	役員名	役職名	支部名	役員名
理事長	千種	後藤　実	理事	千種	池尾佳也	理事	犬山	小島　孝	理事	幡豆	大橋友昭
副理事長	東三	松浦正行	〃	東北	佐藤秀樹	〃	江南	滝　健城	〃	知多	岩澤峰之
〃	瑞穂	谷倉好光	〃	中村	鈴木修治	〃	小牧	林　清典	〃	東三	河田雅彦
〃	一宮	湯浅伸明	〃	中	浅井裕一	〃	稲沢	小林三春			
常務理事	中川港	西川貴久男	〃	昭和	松井浩司	〃	岩倉	荒木勝己	理事相談役	熱田南	小野寺俊一
〃	瀬戸	大山耕平	〃	瑞穂	恩田義則	〃	西春	橋本　強			
〃	岡崎	石原晴久	〃	熱田南	稲熊勝美	〃	岡崎	戸松孝明			
〃	岡崎	清水三男	〃	中川港	西川貴久男	〃	碧南	岡田好己	監事	熱田南	川村正人
〃	岡崎	宇野勝義	〃	緑	白木義一	〃	刈谷	望月克治	〃	瀬戸	磯村信夫
〃	豊田	杉本　忍	〃	一宮	上田大介	〃	豊田	田中義久	〃	碧南	神谷定幸
〃	知多	山内政明	〃	瀬戸	山口　浩	〃	安城	岩崎　崇			
〃	知多	神谷　聡	〃	春日井	樋口弘司	〃	西尾	石川克己			
〃	東三	河田雅彦	〃	津島	河野　稔	〃	知立	野田朋幸	青年部長	東三	森田光俊

第 26 期　委員会名簿

役職名	総務委員会	広報委員会	技術研究委員会	技能委員会	経営研究委員会	IT部会	登録基幹技能者特例講習	青年部担当	技能検定員
担当役員	谷倉　好光(瑞　穂)	松浦　正行(東　三)	後藤　実(千　種)	湯浅　伸明(一　宮)	後藤　実(千　種)	後藤　実(千　種)	後藤　実(千　種)	後藤　実(千　種)	（検定委員） 坂本　亮(東　三)
委員長	清水　三男(岡　崎)	杉本　忍(豊　田)	山内　政明(知　多)	宇野　勝義(岡　崎)	西川貴久男(中川港)	石原　晴久(岡　崎)		（担当常務理事） 山内　政明(知　多)	澤田　栄一(中　村)
副委員長	河田　雅彦(東　三)	本田　幹雄(中川港)	神谷　聡(知　多)	坂本　亮(東　三)	大山　耕平(瀬　戸)			（青年部長） 森田　光俊(東　三)	佐々木利浩(中川港)
委員	二村　芳裕(瑞　穂)	浅井　裕一(　中　)	伊藤　照浩(一　宮)	澤田　栄一(中　村)	鈴木　修治(中　村)	杉本　忍(豊　田)	蟹江　康(知　多)		神谷　定幸(碧　南)
〃	西川貴久男(中川港)	津坂　和豊(熱田南)	石原　晴久(岡　崎)	佐々木利浩(中川港)	長山　孝(昭　和)	松井　浩司(昭　和)			片山　良治(碧　南)
〃	樋口　弘司(春日井)	鵜飼　良成(一　宮)	沼澤恒一郎(知　多)	片山　良治(碧　南)	磯村　信夫(瀬　戸)	伊藤　哲章(中川港)			松本　富夫(知　多)
〃	橋本　強(西　春)	兼　真次郎(津　島)	榊原　敬二(知　多)	神谷　定幸(碧　南)	大参　久男(安　城)				
〃	伊藤　武(豊　田)	小島　秀彦(犬　山)	平林　保幸(知　多)	福田　秀和(豊　田)	村松　利孝(西　尾)				（検定補佐員） 堀井　貴義(知　多)
〃	浅井　孝好(幡　豆)	赤池　義徳(豊　田)	森田　雄次(東　三)	松本　富夫(知　多)	蟹江　康(知　多)				竹内　一隆(知　多)
〃	岩澤　峰之(知　多)	檜谷　慎吾(知　多)	松隈　信男(東　三)		船井　俊宏(東　三)				津坂　和豊(熱田南)
			河田　雅彦(東　三)						船井　俊宏(東　三)
									（検定事務員） 福田　秀和(豊　田)

第38回 尾張名古屋の職人展

「第38回尾張名古屋の職人展」が名古屋市中区のオアシス21「銀河の広場」・NHK名古屋放送センタービル「プラザウェーブ21」の2会場で10月21・22日の2日間で開催された。新型コロナ感染症が5類に移行されて制限が無く通常開催で行われた。また、「名古屋まつり」との同時開催で大勢の来場者が会場に足を運んだ。

愛知県板金工業組合は、名古屋板金連合会・愛知県板金工業組合青年部がそれぞれ出展した。

名古屋板金連合会は職人による製作実演、銅・黄銅・アルミ缶による折鶴・兜・昆虫等の製作・即売、銅板での叩き出しによるレリーフ製作体験を実施し、又、県板青年部は、絵・文字等下書きしたものを銅板に転写しボールペン等で凹凸するレリーフ製作体験を実施した。

製作実演で21日(土)は知多支部の堀井貴義氏が令和6年の全板連青年部技能競技大会の課題「ランタン」の一部を製作した。熱心に質問をされる方もいて、中には1時間見学していた方もいた。

22日(日)は中川港支部の佐々木利浩氏が昨年に続きカラフルなガルバリウム鋼板で塵取りを製作した。同時に販売もし、好評で中には1時間待ちになる事も有った。

▶堀井貴義氏

2日間通して銅・黄銅・アルミ缶で折鶴・兜等製作する所を見学している方が多く見受けられた。

大変多くの来場者が有り外国の方も多く来場している印象がある職人展であった。

本田（中川港支部）

▶佐々木利浩氏

知多支部 勉強会

知多支部は10月21日(土)、㈱角建材店半田支店にて、サンコーテクノ㈱の日恵野貴啓氏と川出貴臣氏を講師に迎え【あと施工アンカー講習会】を行った。知多支部より9名参加した。

この勉強会は資格が取れるものではなく、メーカーからの講師による特定の商品を使い、施工時の注意点などを勉強し参加者のスキルアップに役立てることが目的である。

まずは座学として、金属系・接着系・その他を紹介し、配られたアンカーのサンプルと参考資料を基にそれぞれの用途の他、施工手順、工具、取扱説明の重要性を学んだ。

続いてコンクリートブロックに穿孔をし、ハンマーを使っての打込や、インパクトドライバーでのビスの締め付けを参加者が行った。作業中にコンクリートブロックが割れるアクシデントがあり、おかげで破断面や清掃不足が確認できた。ほかに穿孔の位置も原因である事が解った。

短時間ではあったが、この勉強会が今後の仕事に役立つことは間違いない。

檜谷（知多支部）

▶講習会風景

県板青年部 次世代研究会in秋田

県板青年部は11月18日(土)・19日(日)に秋田県秋田市にて行われた次世代研究会に10名で参加した。

会場の「秋田キャッスルホテル」へ到着後、会場前廊下の出展ブースへと向かい、愛知県板の村松利孝氏が出展している専門工事で元請化する脱下請の説明や、他の出展企業の新商品の屋根材や板金工具の説明を受けながら見て回った。

今回のメインテーマは「踏み出そう！夢に向かって自分自身の成長を掴み取れ」で、全国から231名の青年部員が集まった。

1日目は午後1時に開会し、勝友美氏の講演で女性起業家として夢を叶えるまでの歩みを聞き、職種は違えど我々建築板金業と共通する所も沢山あり大変勉強になった。

午後6時からは懇親会が行われ、余興では、なまはげや和太鼓を演舞する郷土芸能を間近で見て、とても迫力があった。その後、愛板メンバーは中板協青年部主催の懇親会へ参加した。

2日目は午前8時30分から開始され、全国で活躍する「秋田人気ナンバー1の女子アナウンサー」相場詩織氏の講演を聞いた。さすがプロのアナウンサーで声が聞き取りやすく秋田美人で直ぐにファンになってしまう魅力ある講演であった。

その後は、グループディスカッションへと移り26組のグループに分かれ、「5年後の目標」と題して、今やるべき事や成長について真剣に考えた。このグループワークを行うことで、自分だけではなく周りの人もモチベーションが上げられ、1人の力では思いつかないことの発見もあった。

そして後半は、手を上げた代表者が5年後になりたい自分をイメージした5カ年計画を発表した。

その後、閉会式が行われ、午後0時30分に解散となった。

来年は北海道で開催される。

津坂（刈谷支部）

▶県板青年部参加者

豊田支部 大人の板金教室

豊田支部は11月９日㈭、10日㈮、13日㈪の３日間、一般の方を対象にした職業訓練を豊田市陣中町の豊田高等職業訓練校にて行った。

今年のテーマは「銅板製ティッシュケース」で募集したところ、６名の参加があった。

講師を樹神秀利氏と赤池義徳氏が務め、夜間に行う訓練なので支部員も各日４名程自主参加して講師を手伝った。

支部内でテーマを決めた時にはティッシュに対して上から箱型の物をかぶせ、真ん中に取り出し口を開ける程度で想定していたが参加者の中には、ティッシュを二つ入れるタイプや側面に打ち出しで文字を入れてみたり、アーチ型のデザインにしてみたりとこちらも驚かされるアイデアで作品に挑む人もいて講師も頭を悩ます場面もあった。

最終日には色付けをして全員完成し、次回以降の参考のためのアンケートを書いてもらい記念写真を撮って解散となった。

赤池（豊田支部）

9月～11月度の動き

◈9月

6日　全国板金業国民健康保険組合　支部事務担当者会議　於　組合会議室

12日　経営研究委員会　於　組合会議室

19日　尾張名古屋の職人展　第2回全体会議　於　イーブルなごや　出席者　本田・森田・津坂

26日　全国板金業国民健康保険組合愛知県支部監査（本部による監査）　於　組合会議室

◈10月

1日　青年部第5回幹事会　於　組合会議室　出席者　理事長

17日　常務理事会　於　組合会議室

21日～22日　この道ひとすじ「第38回尾張名古屋の職人展」　於・オアシス21　銀河の広場　・NHK名古屋放送センタービル「プラザウェーブ21」

26日　全板連／日板協　第4回理事会　リモート

27日　全国板金業国民健康保険組合愛知県支部監査（東京都福祉局による監査）　於　組合会議室

29日　中板協青年部　10月役員会　於　YOKOBAN㈱

◈11月

2日　経営研究委員会（総合委員会）　於　組合会議室　全国理事長連絡会議・全板国保支部長会　於　自由民主会館（東京）

8日　出席者　理事長　建築板金業振興議員連盟総会　於　自由民主会館（東京）　出席者　理事長

14日　技能委員会　於　組合会議室

16日　総務委員会　於　組合会議室

18日～19日　第43回建築板金業次世代研究会in秋田　於　秋田キャッスルホテル

24日　広報委員会　於　組合会議室

26日　第56回西三板金連合会総会　於　岡崎市中小企業勤労者支援センター

27日　三役会　於　組合会議室　出席者　正副理事長

【各支部】

名古屋板金連合会

9月19日　職人展第2回全体会議　2名

9月20日　支部長会　10名

・職人展について

10月21・22日　尾張名古屋の職人展

11月11日　職人展反省会11名

11月23日　名古屋市長表彰

中村支部

9月27日　支部定例会　7名

・各メンバーの仕事状況

・行事確認

・池田商店より市場報告

11月5・6日　慰安旅行　7名

・和倉温泉　美湾荘

・次回の慰安旅行決め

瑞穂支部

10月　定例会　12名

11月　定例会　12名

中川港支部

9月18日　会合　6名

・ビアパーティー　職人展報告

11月24日　新年会打合せ

春日井支部

10月18日　定例会　7名

・各事業の打合せ

西三板金連合会

11月26日　総会　30名

碧南支部

10月19日　集団検診　16名

・支部集団検診

11月22日　支部三役会　3名

・支部総会　太子講について

11月30日　支部三役会　7名

刈谷支部

8月9日　定例会　5名

・情報交換等

11月9日　忘年会　5名

豊田支部

9月4日　定例会　7名

11月6日　定例会　7名

11月9日　大人の板金教室　6名

11月10日　大人の板金教室　6名

11月13日　大人の板金教室　6名

東三支部

9月11日　問屋・役員懇談会　11名

11月23日　三役会　4名

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今日は11月24日、今年もあと一ヶ月。一年が過ぎるのがとても早く感じます。

ここ最近、ガソリンをはじめいろんな物が値上がって我々を苦しめています。最近行っていませんが（行く予定も無いですが）、スキーのリフト券って毎週のように行っていた頃は（随分昔ですが）２千円台だったと思うのですが、今は５千円とかみたいです。でも収入はそこまで増えていないですよね？今年はもっと暮らしやすくなると良いですね。

また本年もよろしくお願いいたします。

十一月二十四日㈮
五七四号　編集会議
広報委員　八名
松浦副理事長　出席
午後二時開会
五時閉会